



史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	注記	形態	数量
1	有毛村之内岩屋村畠方帳	慶長13年8月吉日	岩屋浦庄屋 弥七			書冊	1
2	異国船唐船漂流漂着之節御定書	寛政6年4月	岩屋浦		寛政3年11月「定」・同年同月「条々」・寛政5年7月「覚」に、寛政6年4月「異国船・唐船漂流・漂着之節御定書浦々請書物」を付す。	書冊	1
2-1	覚	未7月26日	越後建功丸船頭 吉右衛門（印）	岩屋浦庄屋 弥七	流寄材木請取の覚。	継紙	1
3	〔石州美濃郡遠田浦五反帆船破船一件綴〕	天保4年巳9月			天保4年9月13日まで	書綴	1
4	遠賀郡岩屋浦人払帳	天保4年巳3月29日	岩屋浦庄屋 弥助・同浦組頭 清蔵	根本源太夫・秋山源内		書冊	1
5	遠賀郡岩屋浦人払帳	安政6年未3月	岩屋浦庄屋 藤蔵（印）・同浦組頭 平三（印）			書冊	1
6	正浦録	安永元年12月21日、同2年正月	山崎権大夫（印）・古田与八（印）	遠賀郡岩屋浦 庄屋・組頭・小百姓中	「浦大庄屋勤方心得之事」ほか。浦奉行の押印あり。	書冊	1

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	注記	形態	数量
7	未四月十八日防州大嶋郡出井（土居）村拾五反帆直船頭源兵衛船破船一件	文政6年未4月	大庄屋代岩屋浦庄屋 弥七		肥前平戸領船越より焚石95,000斤を積み、脇浦沖で転覆。	書冊	1
8	〔浦々出入荷運上御定書〕	天保11年5月	御浦役所	鐘崎浦大庄屋久島次三郎・箱崎浦大庄屋平四郎		書冊	1
9	心得方控帳	明治4年辛未9月			布達写	書冊	1
10	〔船差出方御定書〕	宝暦11年巳11月	古田与八 保（花押）			継紙	1
11-1	仕上書物之事	天保9年3月	遠賀郡岩屋浦庄屋 弥助・同浦組頭 芳平	秋山源内・久野甚平	（端裏貼紙）「遠賀郡岩屋浦本誓紙案」	継紙	1
11-2	遠賀郡之内岩屋浦切支丹宗門重疊御改被成二付起請文書上申事	天保9年3月			（端裏貼紙）「遠賀郡岩屋浦名子誓紙案」	継紙	1
12	條々（写）	寛文元年7月23日			寛文元年7月4日公儀より宗旨改仰付られ御国中吟味に付。	継紙	1
13	一札之事	文政7年申2月	肥前伊万里町 清兵衛	岩屋浦庄屋 弥七・同浦組頭 太次郎	漂着の船滓・梶受取。	継紙	1

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	注記	形態	数量
14	証文之事（案文）	弘化4年未7月	羽州加茂浦 春日丸五郎助・下之関 菊屋平兵衛・越後国鍛冶屋敷三ツ井吉右衛門	筑州岩屋浦 庄屋弥七・同浦 御役人衆中	春日丸水主、岩屋浦にて流寄の桁帆切取に付内済書物。 （端裏書）「不用之分」	継紙	1
15	書物之事	弘化4未7月	出羽国加茂浦春日丸船頭 五郎助（印）・下ノ関 菊屋平兵衛（印）	筑前国石（マ）屋浦庄屋弥七・同浦組頭 長平	春日丸水主、岩屋浦にて流寄の桁帆切取に付内済書物。 （奥書）「越後国鍛屋敷建功丸船頭 吉右衛門（印）」	継紙	1
16	岩屋浦武平依御詮儀乍恐申上ル口上之覚	文政12年丑2月	岩屋浦 武平	浅香登	文政11年岩屋浦にて備前国船破船の節買取の品々書上。 （端裏書）「浦控」	継紙	1
17	浜書物之事	文化6年12月13日	御料肥前国松浦郡浜崎浦直船頭 幸左衛門・水主 儀平・荷主 利左衛門	岩屋浦庄屋 半三郎・同浦組頭 新吉	浜崎浦3反帆船、米80俵を積み岩屋浦にて破船。	継紙	1
18	浜書物之事	寛政4年子12月	芸州豊田郡大崎東野村直乗船頭 市作・水主 嘉吉・同 藤松	筑前国岩屋浦庄屋 右衛門・同浦組頭 七 弥治	大崎東野村4反帆船、肥前厨にて竹3000本・薪12000斤を積み、岩屋浦にて破船。	継紙	1

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	注記	形態	数量
19	岩屋浦 _弼 奉願上口上之覚	嘉永7年寅8月	岩屋浦庄屋 弥七 (印)	御浦御役所	(端裏書)「寅八月 流寄漁船拝領願御聞届 被仰付候分」 (奥書)「神湊浦大庄 屋大嶋政三」	継紙	1
20	仕上 _ル 書物之事	慶応3年3月	遠賀郡岩屋浦庄屋 弥平 右衛門・同浦組頭 三		当浦滞在の豊前国平松 者宗門改。 (端裏貼紙)「遠賀郡 岩屋浦滞在平松者誓 紙」	継紙	1
21	岩屋浦 _弼 御届申上 _ル 事(控)	[弘化4年]未7月5日	岩屋浦庄屋 弥七	勝浦大庄屋代江口浦庄 屋 甚四郎	出羽国船・越前国船切 捨の碇取揚、引渡し。 (端裏書)「手元控」	継紙	1
22	覚	弘化4未7月	庄内加茂浦春日丸 五 郎助(印)	岩屋浦 御役頭	引き揚げた碇の受取。	一紙	1
23	浜手形〔之事〕	文政11年子4月4日	福間浦直乗船頭 忠 吉・同浦水主 茂八・ 同 和六・同 久市・ 同 惣八・便乞 喜三 太	岩屋浦庄屋 弥七・同 浦組頭 清蔵	福間浦8反帆船、菜種 子228俵・小麦100俵・ 米190俵・干鰯333俵を 積み破船。	継紙	1
24-1	一札之事	天保9年11月	対州家中 橘忠作・豊 田卯右衛門	筑州御浦方 平野要作	宗右京大夫参府の同勢 者乗組船、岩屋浦にて 破船。早急の内済処理 を願出る案文。	継紙	1

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	注記	形態	数量
24-2	口上覚	天保9年戌11月	宗対馬守内 橘忠作 (印)・豊田卯右衛門 (印)	筑前国岩屋浦庄屋 弥七・組頭 芳平	水死した対馬藩足軽中重源左衛門の結縁取納願。 (端裏書)「対州御家中書物」	継紙	1
24-3	書物之事	天保9年11月	宗対馬守内 橘忠作 (印)・豊田卯右衛門 (印)	筑前国岩屋浦庄屋 弥七・組頭 芳平	水死した足軽中重源左衛門の結縁取納願。	切紙	1
24-4	書物之事 写	天保9年11月	宗対馬守内 橘忠作・ 豊田卯右衛門	筑前国岩屋浦庄屋 弥七・組頭 芳平	水死した足軽中重源左衛門の結縁取納願。 24-3の写。 (端裏貼紙)「本紙ハ御役所へ指出」	継紙	1
24-5	口上之覚 写	天保9年戌11月	宗対馬守内 橘忠作・ 豊田卯右衛門	筑前国岩屋浦庄屋 弥七・組頭 芳平	水死した足軽中重源左衛門の結縁取納願。 24-2写。端裏の貼紙落剥。	継紙	1
24-6	添書物之事	天保9戊戌年11月3日	対馬守供徒士 梅野哲三郎(印)・貝江庄兵衛・修行九郎治・梅野良左衛門・高雄治五左衛門・妻瀬雪斎	岩屋浦庄屋 弥七・同浦組頭 芳平	破船一件始末に豊田卯右衛門・足軽忠作を残し、他は下関へ出立。	継紙	1
24-6-1	覚	11月3日	久宝丸乗組 対州 高雄治五左衛門・貝江庄兵衛・梅野哲三郎(印)	大庄屋代 脇田浦庄屋 清八・岩屋浦庄屋 弥七	御取揚用物の受取。	切紙	1

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	注記	形態	数量
25-1	送り手形	天保2年卯2月3日	備前国牛窓 妙福寺	筑前国小竹村 浄福寺	岩屋浦弥平船水主徳助 備前国牛窓にて病死に 付、結縁証拋差送り。	継紙	1
25-2	浦状	天保2年卯2月3日	備前国牛窓五人組 嘉 作・同 万兵衛・同 三平・名主 助三郎・ 同 三郎右衛門	筑前国岩屋浦船頭 弥 平・同水主 平左衛 門・同柏原水主 甚 蔵・同芦屋浦 半兵 衛・同 甚七・同 源 兵衛・同 幸平・同山 鹿村 伝左衛門・同 治左衛門・同柏原浦 新七・同久賀浦 卯平	岩屋浦弥平船水主徳助 備前国牛窓にて病死に 付、埋葬見届け。	継紙	1
25-3	証文	天保2年卯2月3日	筑前国遠賀郡久賀浦 卯平・同柏原浦 新 七・同山鹿村 治左衛 門・同 伝左衛門・同 芦屋浦 幸平・同 源 兵衛・同 甚七・同 半兵衛・同柏原浦水主 甚蔵・同岩屋浦水主 平左衛門・同船頭 弥 平	備前国牛窓名主 三郎 右衛門・同助三郎・五 人組 三平・同 万兵 衛・同 嘉作	岩屋浦弥平船水主徳助 備前国牛窓にて病死に 付、請証文。	継紙	1
25-4	岩屋浦庄屋・組頭乍恐御願申上ル 口上之覚	天保2年卯4月	岩屋浦組頭 清蔵・同 浦庄屋 弥七	遠賀・鞍手 御郡代御 役所	岩屋浦弥平船水主徳 助、備前国牛窓にて病 死に付、旦那寺吊の儀 願出。船には芦屋・山 鹿・柏原・久家4ヶ所 の上方行焼物商人8人 が乗組む。	継紙	1

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	注記	形態	数量
25-5	岩屋浦庄屋・組頭乍恐御願申上ル口上之覚（案）	天保2年卯4月	岩屋浦組頭 清蔵・同 浦庄屋 弥七	遠賀・鞍手 御郡代御 役所	25-4案文	継紙	1
25-6	岩屋浦庄屋・組頭乍恐申上ル口上之覚（案）	天保2年卯4月	岩屋浦組頭 清蔵・同 浦庄屋 弥七	御郡御目附	牛窓の妙福寺より水主 徳助の結縁証拠到来。 （端裏書）「御郡目 附」	継紙	1
25-7	岩屋浦弥平乍恐申上ル口上之覚	天保2年卯4月	岩屋浦 弥平	遠賀・鞍手 御郡代御 役所	岩屋浦弥平船水主徳 助、備前国牛窓にて病 死に付諸入目分、目録 共に届出。	継紙	1
25-8	岩屋浦庄屋組頭乍恐御願申上ル口上之覚（案）	天保2年卯4月	岩屋浦組頭 清蔵・同 浦庄屋 弥七	宗旨方 御役所	25-4案文。 （端裏書）「宗旨方」	継紙	1
25-9	岩屋浦弥平乍恐申上ル口上之覚（案）	天保2年卯4月	岩屋浦 弥平	遠賀・鞍手 御郡代御 役所	25-4案文。	継紙	1
26	公義御備船々具流寄一件	弘化4未6月25日刊	岩屋浦庄屋 弥七		26-1～-34の包紙。袋 は糊外れ。	袋	1
26-1	〔包紙〕				（包紙上書）「岩屋浦 刊御注進申上ル口上之 覚」（全体を抹消）	包紙	1

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	注記	形態	数量
26-1-1	〔包紙〕				（包紙上書）「嘉永7年寅2月 死骸老人漁船流寄 御届ケ手元控」	包紙	1
26-1-2	岩屋浦 _刵 御注進申上口上之覚（控）	嘉永7年2月	岩屋浦組頭 弥平・同浦庄屋 弥七	御浦御役所	去る20日頃漁船1艘流寄り、船内に死人1人あるため届出。文書の後尾に2月25日付御浦役所の達（仮埋・高札建と船滓の保管を指示（一部欠か））を継ぐ。	継紙	1
26-2	〔達〕	10月6日	御浦役所（印）	大庄屋代 芦屋浦庄屋 七六・岩屋浦庄屋 弥七	岩屋・新宮両浦への流寄死骸につき。	継紙	1
26-3	〔書状〕	10月15日	大庄屋代 七六（印）	庄屋 弥七	長浜浦船頭死骸・船の引渡につき、浜手形の作成を指示。	継紙	1
26-4	〔書状〕	10月5日	大庄屋 大島弥三	岩屋庄屋 弥七	三田尻船破船処理につき。	継紙	1
26-5	先触	10月7日	対州 梯源七郎	原田 _刵 岩屋浦迄宿々問屋衆中	岩屋浦に罷り越すにつき、人足差出依頼。	継紙	1

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	注記	形態	数量
26-6	〔書状〕	6月晦日	江口浦庄屋 甚四郎	岩屋浦 弥七・同浦 組頭衆中	旅船切捨の碇引き揚げにつき裁判を依頼。 (端裏書) 「大庄屋代書状」	継紙	1
26-7	〔書状〕	10月17日	大庄屋 久島次三郎	岩や庄屋 弥七	流寄帆柱の処理について。	継紙	1
26-8	〔書状〕	10月4日夕	同(柏原浦庄屋) 勇 五郎	庄屋 弥七	流寄帆柱に番人を付け置くよう指示。	継紙	1
26-9	〔書状〕	10月26日	大庄屋 大島弥三	岩屋浦庄屋 弥七	此節破船一件出役の御役所衆への礼物について。	継紙	1
26-10	〔書状〕	10月8日夕	大島弥三	岩屋庄屋 弥七	破船荷物取り揚げの書状披見、明日松尾様一同岩屋浦入込。	継紙	1
26-11	〔書状〕	10月7日	大島弥三	代勤 山鹿浦庄屋 四弥 郎平・岩屋浦庄屋 七	田代御仕組産物積船破船につき御出役。取揚荷物などの囲方を指示。	継紙	1
26-12	〔書状〕	11月13日	宗旨方役所(印)	岩屋浦庄屋 弥七	宗右京大夫様家来溺死一件につき、結縁証拠ならびに浦方への願書提出を指示。	継紙	1

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	注記	形態	数量
26-13	〔書状〕	11月2日	久宝丸乗組 対州侍中	庄屋 弥七	破船乗組人数・名元・荷物の書上。後尾に11月4日付岩屋弥七宛覚（浮出荷物請取）を継ぐ。	継紙	1
26-14	〔書状〕	10月20日	広島屋 松兵衛	御庄屋 弥七	預け置いた印形入用につき。 （端裏書）「十月七日下関松兵衛来状」	継紙	1
26-15	〔書状〕	10月19日	大島弥三	岩屋庄屋 弥七	御荷物積み込み次第、対州役人宿札を報告すべき旨指示。 （端裏書）「大庄屋殿来状」	継紙	1
26-16	〔書状〕	10月5日	同 七六	庄屋 弥七	有毛村へ廻船柱桁流寄るにつき注進。	継紙	1
26-17	〔書状（案）〕	10月21日	岩屋浦庄屋 弥七 （印）	大庄屋 大島弥三	26-15の返状案。船積と梯様御出立の日時と宿札額の報告。 （端裏書）「大庄屋殿江弥七来返事」	継紙	1
26-18	〔書状〕	10月2日	小倉領長浜浦庄屋 富 野古兵衛	筑前御領岩屋浦 御役 人中	岩屋浦漂着の長浜浦漁師米吉の死骸、漁船共に引渡し依頼。 （端裏書）「申十月豊前長濱庄屋来状」	継紙	1

史料 番号	表 題	年 月 日	作 成 者	宛 先	注 記	形 態	数 量
26-19	〔書状〕	6月28日	庄屋 勇五郎	庄屋 弥七	破船一件、浜書物に印判を押し、返送。破船瀬元役所よりの仰付は不承知。	継紙	1
26-20	〔書状〕	10月7日	大庭伊右衛門・納屋保助	岩屋浦庄屋 弥七	岩屋浦受持浜へ漂着の檣の取り扱いにつき。	継紙	1
26-21	〔書状〕	10月23日	庄屋 弥吉	庄屋 弥七	（端裏書）「対州御役人御入用人足賃錢之儀ニ付有毛村同役 _レ 掛合書状、但右返事此内ニ有り」	継紙	1
26-22-1	岩屋浦指出ヲ以申上ル事（案文）	7月5日	岩屋浦庄屋 弥七	大庄屋代 甚四郎	当浦取揚の帆并に檣・桁引渡し。 （端裏書）「手元控」	切紙	1
26-22-2	〔書状〕	7月6日	庄屋 勇五郎	庄屋 弥七	越後船諸道具引渡し。	切紙	1
26-22-3	先触	10月17日	対州 梯源七郎	岩屋浦 _レ 原田駅迄宿々問屋衆中	人足の差出依頼。	切紙	1
26-23	〔書状〕	10月11日	大庄屋代 七六	庄屋 弥七	漂着死骸・船引渡し仰付け。	継紙	1

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	注記	形態	数量
26-24	〔書状〕	10月8日	組頭 金助	庄屋 弥七	貴浦への柱桁漂着一件口上書作成につき、当浦まで御出を乞う。	継紙	1
26-25	〔書状写〕	10月朔日	触口 佐藤■十郎	浜中双右衛門	肥後様御米船難破の節、岩屋・柏原の者共不正筋御詮議につき。	継紙	1
26-26	戸籍御改ニ付受証抛之事	明治5年正月	芦屋町庄屋 舟津渡三 (印)	岩屋浦庄屋 本田弥三 太	其浦本多長七当町へ引越につき、岩屋浦帳面指除けを申入れ。	継紙	1
26-27	戸籍御改ニ付払証抛之事	明治6年正月	芦屋町庄屋 舟津渡三 (印)	岩屋浦庄屋 本田弥三 太	当町刀根たね、其浦本多彦六の養子となるにつき岩屋浦帳面へ書載せを申入れ。	継紙	1
26-28-1	〔書状〕	10月21日	大島弥三	岩屋庄屋 弥七	対州役人出立その外宿札などの申出承知。	継紙	1
26-28-2	〔書状〕	10月6日	松尾慶五	岩屋浦庄屋 弥七	漂着一件につき、芦屋浦拙者宿まで出頭要請。	継紙	1
26-28-3	〔書状〕	10月4日夕	庄屋 ■一郎（花押）	岩屋浦庄屋 弥七	当村抱其浦へ帆柱・帆桁漂着の由注進あるにつき、見分を要請。	継紙	1

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	注記	形態	数量
26-29-1	御用答	10月6日夕	自福岡大庄屋 久島次三郎	岩屋浦庄屋 弥七	漂着帆柱・桁の口上書、大庄屋代柏原勇五郎の奥書で福岡へ遣わされたし。	継紙	1
26-29-2	添書物之事（案）	年号月日	対馬守内 何役 何ノ何某	岩屋浦庄屋 弥七・同浦組頭 芳平	宗対馬守参府同勢のため、下関へ渡海願。	継紙	1
26-29-3	添書物之事（案）	天保9戊戌年11月3日	対馬守内 供徒士 梅野哲三郎・貝江庄兵衛・修行九郎治・梅野良左衛門・高雄治五左衛門・妻瀬雪齐	岩屋浦庄屋 弥七・同浦組頭 芳平	26-29-2の清書	継紙	1
26-29-4	覚				11月朔日・2日の揚荷受取覚。 （端書）「是が船頭受取証ニ、同人直筆也」	切紙	1
26-29-5	〔書状〕	11月9日	平野要作（印）	岩屋庄屋 弥助	対馬守家中破船一件才判のため、其浦へ入込につき宿手当依頼。	継紙	1
26-29-6	〔書状〕	8月5日	越後船頭 吉右衛門 柏原浦 _三	岩屋浦庄屋 弥七	引船3艘出船、他万搬につき礼状。	継紙	1
26-29-7	〔書状〕	（戊）11月27日	用作	庄屋 弥七	対州家中口上書ほか計2通返却につき、写し早々差出しを指示。	継紙	1

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	注記	形態	数量
26-29-8	〔書状〕	6月25日	細屋三郎兵衛（「赤間関・細屋」印）	御庄屋	御地へ繫船の越前三国宝屋長九郎船、切捨の碇掛上げ願。	継紙	1
26-30-1	〔達〕	7月5日	従柏原 大庄屋代 甚四郎	岩屋浦庄屋 弥七	檣・桁引渡しおよび元船の漕廻につき。	継紙	1
26-30-2	〔書状〕	6月29日			伊崎船漂流一件処理につき。 （端裏書）「かね崎同役書状、他見無用」	継紙	1
26-30-3	〔書状〕	6月28日	大庄屋代江口浦庄屋 甚四郎	岩屋浦庄屋 弥七	昨日注進の帆桁見改のため、当浦破船加子召し連れ組頭差越。貴浦碇掛捜し一件。	継紙	1
26-30-4	〔書状〕	6月28日	鐘崎浦より 大庄屋代 甚四郎 江口浦庄屋	岩屋浦庄屋 弥七	岩屋浦抱海にて旅船2艘伐捨の碇、破船公義船積荷散乱海域の近辺ゆえ、破船乗組および組頭立会いのうえにて掛捜申付。 （端裏書）「大庄屋代書状」	切紙	1
26-30-5	〔書状〕	10月10日	有毛 七蔵	岩屋庄屋 弥七	庄屋弥吉不在につき即刻相達し、返事があれば直々に差出。	継紙	1

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	注記	形態	数量
26-30-6	〔書状〕	7月4日	柏原 ^判 大庄屋代 甚 四郎	岩屋浦庄屋 弥七	(端裏書) 「大庄屋代 甚四郎殿書状」	継紙	1
26-30-7	〔書状〕	6月27日	大庄屋 五兵衛	庄屋 弥七	旅船切捨の碇掛搜、公義御米積船破船近所に付、御出役御着まで差止め。流寄りの帆桁囲置を指示。 (端裏書) 「大庄屋殿書状返事」	継紙	1
26-30-8	〔書状〕	7月6日	従柏原 大庄屋代 甚 四郎	岩屋庄屋 弥七	破船手入りにつき出勤要請。越後船元船・船具漕廻、御役所よりはしばらく福浦への回漕を差止めるよう申し来たるも、内分にて回漕。	継紙	1
26-31	対州御家様御乗船防州虎吉船破船雑用帳	天保9年戌11月			「夜具并風呂損料」ほか雑費書上。	長帳	1
26-32	流寄檣帆桁日記	天保12年丑10月4日			事件記録と諸入用控。	長帳	1
26-33	諸品取揚候分御請取通	天保9年戌11月4日ヨリ			引き揚げた紋付・袷など諸品の受取。	長帳	1

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	注記	形態	数量
26-34	越後出羽両艘碇掛揚方日記	弘化4年未6月				長帳	1
27	〔書状〕	4月16日	従福岡 庄屋 浜中双	庄屋 本田弥三太	岩屋浦寄留人の戸籍記載の様式につき。	継紙	1
28-1	〔書状〕	4月6日	久家浦庄屋 幸六	岩屋浦庄屋 弥七	岩屋浦弥平船水主備前国牛窓で病死の節乗合の久家浦卯平、往来願請置き候哉照会への返事。	継紙 (包紙入り)	1
28-2	〔覚綴〕	卯2月3日			牛窓諸入費覚、7通綴。内、6通は福島屋喜兵衛宛、1通は住吉丸弥平宛。	綴	1
28-3	〔書状案〕	4月	岩屋浦庄屋 弥七	久家浦庄屋	当浦弥平船乗組水主牛窓で病死の節乗合の久家浦卯平、往来願請置き候哉照会。	継紙	1
28-4	覚	4月12日	松本権四郎（印）	岩屋浦庄屋 弥七	届書1通受取覚。	切紙	1
29	引請証文之事	申2月26日	小倉鋳物師町小年寄吉村定七（印）	筑前岩屋村庄屋 弥右衛門	岩屋村たみ戸籍受入れ。	切紙 (包紙入り)	1

史料 番号	表 題	年 月 日	作 成 者	宛 先	注 記	形 態	数 量
30	□ □畠物事	□□年戌12月	売主 甚次（印）・証 人 又七（印）	伊助	畠地請寄証文。	一紙	1
31	〔書状〕	壬申2月23日	平松浦 稻生藤太郎 （印）	筑前岩屋浦庄屋 田中 弥右衛門	当浦2名、家内ともに 寄留願。	切紙	1
32	（仮題）〔寄留者名本書上〕	〔明治6年〕			豊前企救郡平松浦およ び大坂からの寄留者3 家族の書上。	長綴	1
33	戸籍御調子ニ付番附				料紙は遠賀郡本城触用 野紙。	長綴	1
34-1	永代ニ売渡畠証文之事	天保8年酉ノ4月	有毛村畠売主 九三郎 （印）・同受人 七蔵 （印）	岩屋浦庄屋 弥助	長畠中畠五畝ほか・代 80文銭175匁の永代証 文。 （端裏書）「永代書物 有毛九三郎」	一紙	1
34- 2-1	永代売渡証文之事	慶応2年寅12月	当浦売主 伝次郎・同 請人 源次郎（印）	虎吉	中畠1畝ほか・正金5 両の永代証文。 （紙带上書）「武衛門 母・伝次郎両様共永代 証文」	一紙	1
34- 2-2	永代ニ売渡証人（ママ）之事	慶応3年卯2月	当浦売主 武右衛門 母・源次郎（印）、受 人 頓多村 次四郎	当浦 虎吉	三軒家屋敷弥助分、下 畠9歩・代正金2両3 歩。	一紙	1

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	注記	形態	数量
34-3-1	蔵売渡申手形之事	天保6年未11月	売主 武平（印）・証人 長平（印）・同林富平（印）	庄屋 弥助	蔵1軒・80文銭325匁。 （紙带上書）「永代武平」	一紙	1
34-3-2	永代売渡申証文之事	天保6年未11月	売主 武平（印）・証人 長平（印）・同林富平（印）・同組頭清蔵（印）	庄屋 弥助	屋敷・代銭150目。 （端裏書）「屋敷永代証文武平」	一紙	1
34-3-3	永代ニ売渡申候書物之事	文化10年酉6月	岩屋浦庄屋 半三郎・同受人 文次郎	当浦組頭 太次郎	家敷・代銭80文銭150目。 （端裏書）「屋敷太次郎え売渡証文控」	一紙	1
34-4	年切畠地書物之事	享和3年亥12月	岩屋浦売主 茂平（印）・証人 清七（印）・同浦庄屋 弥右衛門（印）	同浦 次右衛門	中畠 4 畝・代80文銭245匁6分、12年切り。 脇売りを禁じる。 （端裏書）「受返し証文」	一紙	1
34-5	永代売渡申書物之事	文政9年戌12月	売主 市右衛門（印）・証人 弥八（印）	弥助	船・船株、代銭80文銭130目。 （端裏書）「市右衛門船永代証文」	一紙	1

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	注記	形態	数量
34-6	永代ニ売渡畠証文之事	文政11年子ノ正月	畠売主 半十 (印) ・ 請人 藤右衛門 (印) ・組頭 十内 (印)	岩屋浦 弥助	尾ノ上下々畠1畝・代 80文銭23匁。 (奥書) 「庄屋五三 郎」 (紙帶上書) 「下々畠 1畝 新屋敷半十永代 証文」	一紙	1
34-7	質物ニ召置申畠書物之事	天明5年巳12月	畠売主 弥三次 (印) ・証人 正七 (印)	善平	下々畠2畝・代銭80文 銭30目。 (紙帶上書) 「おこぎ 場下々畠2畝 善平よ り取帰シ証文」	一紙	1
34-8	永代証文之事	天保13年寅6月	売主 新屋敷 定右衛 門 (印) ・証人 菊平 (印)	岩屋浦庄屋 弥七	下々畠1畝・代銭80文 銭65目。 (奥書) 「岩屋浦組頭 長平」 (端裏書) 「永代証文 定右衛門殿」	一紙	1
34-9	畠永代ニ売渡申証文之事	天保13年寅2月	畠売主 幸十 (印) ・ 受人 安蔵 (印)	庄屋 弥七	下々畠1畝12歩・代80 文銭50目。 (奥書) 「有毛村組頭 勝右衛門・同 徳市・ 同村庄屋 角一郎」 (端裏書) 「中尾畠幸 十より永代証文」	継紙	1

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	注記	形態	数量
34-10	永代ニ売渡申畠書物之事	天保8年酉2月	畠売主 次八（印）・証人 富平（印）・同善四郎（印）	庄屋 弥助	下畠 1 畝・代80文銭60目。 （端裏書）「西ノ上下畠永代証文次八分」	切紙	1
34-11-1	鰯網場永代ニ売渡申書物之事	天保7年申5月	売主 左七（印）・請人 甚五郎（印）・同平吉（印）・同清三（印）・同富平（印）・同組頭 菊平（印）	弥助	鰯網場代・80文銭140目。 （端裏書）「鰯網場永代書物 左七分」	継紙	1
34-11-2	永代売渡申書物之事	天保6年未12月	売主 左七（印）・受人 林富平（印）・同清三（印）	庄屋 弥助	山 1ヶ所并田共に・代80文銭120目。 （端裏書）「山之証文左七分」	継紙	1
34-12-1	居家敷永代ニ売渡申書物之事	嘉永4年亥12月	居家敷売主 藤平（印）・証人 弥平（印）・同源次郎（印）・同磯吉（印）・同長助（印）・組取頭 市五郎（印）・組頭 長平（印）	庄屋 弥七	居家敷馬家共・代金21両。 （端裏書）「藤平殿家敷永代書物 嘉永4亥12月」 （紙帶上書）「藤平殿分」	継紙	1
34-12-2	借申書物事	2月	当浦 藤平（印）・受人同浦 長介（印）	庄屋 弥七	金子 1 両。 （端裏書）「藤平殿受取」	切紙	1

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	注記	形態	数量
34-12-3	請取	亥12月29日	藤平	庄屋 弥七	屋敷代のうち金子5両1歩受取。	切紙	1
34-13-1	五ヶ年切売渡畠証文之事	文政12年丑ノ12月	借主 岩屋浦 伝三 (印)・請人 同浦一族 小平 (印)	有毛村庄屋 五三郎	上畠1畠・代80文銭170目。 (奥書)「岩屋浦庄屋 弥七」 (紙帯上書)「永代証文 貞次郎殿分」	継紙	1
34-13-2	添証文之事	弘化2年巳12月	売主 みならや貞次郎 (印)・受人 文四郎 (印)	庄屋 弥七	伝三より買取の上畠1畠を、代80文銭85匁で永代売渡。	継紙	1
34-14	永代ニ売渡申畠証文之事	嘉永3年戌12月	畠売主 勘次郎 (印)・証人 藤次郎 (印)・同 徳八 (印)・同組頭 長平 (印)	庄屋 弥七	上畠6畠・代銭80文銭650目。 (端裏書)「勘次郎殿 永代証文」	一紙	1
34-15	永代ニ売渡申畠証文之事	嘉永4年亥3月	畠売主 貞左衛門・受 人 半十・同 弥助	岩屋浦庄屋 弥七	下々畠10歩・代80文銭300目。 (奥書)「庄屋弥吉」 (端裏書)「永代証文 新屋敷定右衛門殿分」	継紙	1
34-16	永代証文之事	嘉永5年子11月	売主 久三郎跡請持 喜十 (印)・証人 平 三 (印)・同 善助 (印)	庄屋 弥七	畠計1反1畠・代金16両2朱。 (奥書)「庄屋弥吉」 (端裏書)「喜十殿分 永代証文」	継紙	1

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	注記	形態	数量
34-17	永代売渡申田地証文之事	慶応元年丑12月	田地売主 友次郎 (印)・受人 徳市 (印)	岩屋浦 弥右衛門	下々田1畝余りほか計 田6畝4歩・代80文銭2 貫300目。 (奥書)「有毛村庄屋 高田藤九郎」	継紙 (包紙 入り)	1
34-18	年切ニ売渡証書之事	明治8年亥12月	有毛村売主 天野弥三 郎(印)・受人同 田 中忠三(印)・同 天 野善右衛門	本田弥三太	五等田4畝余りほか計 田3ヶ所・代金75円。 (奥書)「保長 吉住 友治」	継紙 (包紙 入り)	1
34-19-1	永代ニ売渡シ申書物之事	享和3年亥正月	売主有毛村 孫九郎 (印)・証人同村 源 十郎(印)・庄屋彦六 (印)	岩屋浦 文次郎	居家1軒・上畠1畝4 歩、代80文銭650目。	一紙	1
34-19-2	家屋敷永代ニ売渡証文之事	明治2年巳11月	売主 伊八(印)・一 族 半平(印)・同 茂吉(印)・同 清吉 (印)・証人 茂八 (印)・同 平三 (印)・同 林善九郎 (印)・同 新野半六 (印)	庄屋 弥三	上畠1畝4歩・居家1 軒、代金41両。 (奥書)「有毛村庄屋 高田藤九郎」	継紙	1
34-19-3	御請取	明治2歳巳12月14日	伊八	庄屋 弥三	御祝儀分として米1俵 受取。	切紙	1

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	注記	形態	数量
34-20-1	永代売渡申畠書物之事	文化11年戌ノ7月	畠売主 半三郎 (印)・請人 弥八 (印)・同 清三 (印)	太次郎	上畠2畝・代80文銭138 匁。後尾に「此分古証 文」との書入れあり。 (紙帶上書)「谷畠永 代 卯七・長平」	一紙	1
34-20-2	永代ニ売渡畠書物之事	天保9年戌12月	卯七分 畠売主 長平 (印)・証人 竹尾孫 四郎(印)・組頭 芳 平(印)	庄屋 弥七	谷畠ヶ上2畝・代銭80 文銭145匁。	一紙	1
34-21	田地永代ニ売渡申書物之事	安政2年卯12月	売主 有毛村 弥六 (印)・証文(マ)マ 同村 善十(印)	岩屋浦庄屋 弥七	下田5畝・代80文銭1貫 目。 (奥書)「有毛村庄屋■ 山弥吉」 (端裏貼紙)「平田 下田5畝 永代証文 新屋敷弥六より参ル 分」	継紙	1
35	人員請証抛之事	明治5年正月	広渡村庄屋 柴田貫蔵 (印)	岩屋浦庄屋 本田弥三 太	岩屋浦岩野久七姉すま 縁付につき、其村人員 差除の請証抛。	切紙	1
36-1	畠数高共ニ割方覚	安永8年亥ノ11月			畠高計2石1斗2升の三 人割方覚。	切紙	1
36-2	明和元年浜田新堤築立候ニ付堤床 水下弁証抛之事	明和元年申ノ12月	乙丸村庄屋懸持有毛村 庄屋 惣七(印)・有 毛村組頭 兵次郎 (印)・同 次六 (印)・同 七蔵 (印)	岩屋庄屋 弥七	堤床となる下々田3畝 に対して、下々田6畝 を補償。	一紙	1

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	注記	形態	数量
36-3	遠賀郡有毛村百姓五七乍恐御願申上候口上書之事（案）	宝暦14年6月	百姓 五七・有毛村庄屋 惣七（印）・同村組頭 兵次郎（印）・同 七蔵（印）・山之口 利介（印）・同加三次（印）・御山願主 五七（印）[「庄屋惣七」以下は墨線で抹消]	島井市太夫	岩屋浦の五七抱田塩害により、風防ぎの野山御証文発給願。 （奥書）「同村庄屋 惣七、組頭 兵次郎・同七蔵」	継紙	1
36-4	永代ニ売渡申田地之事	文化6年巳12月	売主 岩屋浦庄屋 半三郎・林善九郎	有毛村 半蔵	下々田5畝・代銭80文銭350目。 後尾に「ひかへ」の記載あり。	一紙	1
36-5	質物ニ召置申田地書■之事	寛政2年戌12月	田主 弥右衛門（印）・証人 伝兵衛（印）	善平	中田3畝・代銭80文銭120目。 裏に「二枚」の記載あり。	継紙	1
36-6	田質物ニ召置申書物之事	寛政3年亥12月	田主 弥右衛門・証人 武平	岩屋浦 文次郎	下々田5畝・代銭80文銭200目。 裏に「亥歳 二枚ひかへ」の記載あり。	一紙	1
36-7	質物ニ召置申田畠書物之事	安永7年戌12月	借り主岩屋 弥三次（印）・同 正七（印）	山鹿綿屋 勘次郎	田数計1町余・畠数計4反余、代銭80文銭600目。 （奥書）「有毛村庄屋和■」	継紙	1

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	注記	形態	数量
36-8	永代畠証抛之事	享保12年未ノ3月22日	岩屋畠主 又四郎 (印)・同所請人 新吉 (印)・同 善七 (印)	岩屋庄屋 弥七	畠7畝・高4斗、代銀60目。	切紙	1
36-9	岩屋浦西十一月御菜銀上納仕上ル覚	酉11月14日	芦屋浦触口 作兵衛 (印)	御浦方御役所	漁船2艘分・銀15匁。 (裏書)「表書之趣相濟候、已上 木山安兵衛(印)」	切紙	1
36-10	借用仕ル錢之事	安永2年巳ノ12月24日	脇田浦かり主 儀助 (印)	岩屋浦庄屋 弥七	80文錢40目。 (端裏書)「儀助分」	一紙	1
36-11	質物ニ召置申畠書物之事	寛政2年戌12月	畠主 弥右衛門 (印)・証人 久次郎 (印)	五吉	上畠3畝・代錢81匁6分。 後筆で「売」の記載あり。	継紙	1
36-12	覚	申ノ11月16日	有毛村庄屋 清作(花押)	岩屋浦庄屋 弥七・同浦頭百生 新吉	夫米上納分・山坪米上納分・去年分畠方運賃払分、合計1石余につき、割符払方申し入れ。	一紙	1
36-13	借用申錢之事	文化8年未12月	岩屋浦庄屋 半三郎・証人 但馬	竹並村 甚三	元利錢3貫776匁6分5厘借用、鯛大漁の際に納所。	継紙	1

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	注記	形態	数量
36-14	我等田地永代ニ売渡し申書物之事	享保14年酉ノ12月13日	有毛村田地売主 与吉 (印)・証人 同村庄屋 清作 (印)・同頭 百生 藤二郎 (印)・同 甚七 (印)	岩屋浦庄屋 弥七	中田4畝ほか計5畝7歩半・代米3俵1斗6升5合。	継紙	1
37	地券	明治10年9月20日	福岡県 (印)	筑前国遠賀郡有毛村 2438番地 持主 田中 弥六	耕地1反5畝24歩・代価 22円余り。	一紙	1
38-1	講金買預ケ置キ証	明治42年旧9月16日	預ケ置キ人 本田政八 (印)	本田弥三太	一回の掛金5円50銭の講座掛け出し金世話人へ預け置く。	罫紙	1
38-2	金借用証書	明治32年12月11日	遠賀郡上津役村大字引野 借用主 古賀半次郎 (印)・同郡江川村 大字有毛 証人 本田 十吉 (印)・同郡上津 役村引野 証人 善野 半平 (印)	本田友次郎	宅地・山林・家屋を抵当として132円借用。	書綴	1
38-3	年賦金借用証書	明治42年第11月20日	遠賀郡島郷村大字有毛 金借用主 伊藤源三 (印)・同郡同村大字 同 保証人 伊藤伝七 (印)	遠賀郡島郷村大字有毛 本田弥三太	小船1艘を抵当として 16円50銭借用	罫紙	1
38-4	金借用証書	(明治33年旧12月)	乙丸村金借用主 野口 安平 (印)・証人 林 栄 (印)・同 本田秀 吉	本田弥三太	11円10銭借用	罫紙	1

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	注記	形態	数量
38-5	金借用証之事	明治17年旧12月	金借用主 本田嘉平 (印)・弁償人 伊藤長吉 (印)	本田弥三太	重戸棚一本を抵当として6円88銭借用。	罫紙	1
38-6	金借用証之事	明治25年旧12月29日	田中弥六 (印)・証人 田中政太郎 (印)	本田弥三太	山林・立木を抵当として10円借用。	罫紙	1
38-7	地所売渡証	明治38年8月21日	有毛区長 松浦房吉 (印) 外16名	本田弥三太	畑地売渡金1円。	罫紙	1
38-8	以引当金員借用証券之事	明治16年旧12月日	金借用主同浦 本田嘉平 (印)・弁償人 同伊藤長吉 (印)	同浦 本田弥三太	戸棚一つを抵当として5円54銭8厘借用。	罫紙	1
38-9	受領証	8月18日	大場五郎 (印)		開墾地地価修正届4人 分手数料1円40銭受領。 料紙は江川村役場用箋。	罫紙	1
38-10	金額借用証	明治18年1月18日	借用主浦中惣代 岩野文右衛門 (印)・林伊三郎 (印)	本田半右衛門・本田弥三太	浦中より本田善平への取替金50円を抵当として、8円借用。	罫紙	1
38-11	金員借用証書之事	明治17年申旧12月	金借用主 本田弥三郎 (印)・弁償人 岩野千右衛門 (印)	本田弥三太	宅地2畝余りを抵当として3円37銭借用。	書綴	1

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	注記	形態	数量
38-12	金借用証	明治37年旧12月	借用主 本田いよ・同 本田秀吉（印）・弁償 証人 川岡和生（印）	本田弥三太	伊藤長次郎講座への加入を抵当として、16円53銭借用。	罫紙	1
38-13	新規開墾地届（控）	明治26年4月25日	持主 本田弥三太	福岡県知事 岩崎小二郎	六等山林のうち一部を畑地に開墾願出。	一紙	1
38-14	以抵当ヲ金借用仕証書之事	明治10年丑ノ第2月	金借用主 岩屋浦 本田甚三（印）・請人 同浦 林伊三郎（印）	岩屋浦 本田弥三太	六等田2枚地価37円27銭を抵当として、15円借用。	書綴	1
38-15-1	借用証	明治38年旧4月22日	借用人 山本善吉（印）	本田弥三太	金20円借用。 （包紙上書）「借用証 山本善太郎分」	罫紙	1
38-15-2	金借用証書	明治36年旧12月	借用主 林弥一郎（印）・弁償人 伊藤佐六	本田弥七郎	10円借用。	罫紙	1
38-15-3	金借用証	明治32年旧12月	金借用主 野口安平（印）・弁償人 林栄（印）	本田弥三太	10円余り借用。	罫紙	1
38-16	〔包紙〕				直方安松商店の広告を料紙とする包紙のみで、本紙なし。38-17-1の包紙か。 （包紙上書）「証書 林善三郎」	切紙	1

史料 番号	表 題	年 月 日	作 成 者	宛 先	注 記	形 態	数 量
38- 17-1	金借用証書	(明治40年5月29日)	金借用主 林善三郎 (印)・弁証人 林三 亀造	本田弥三太	80円借用。 包紙は明治34年の土地 登記申請書を料紙とす る。 (包紙上書)「証書 田 中仲太郎」	罫紙	1
38- 17-2	土地年切ニ売渡証	明治38年2月1日	土地売渡人 田中忠三 (印)・証人 豊島直 吉(印)・同 杉原菊 太郎(印)・同 田中 亀吉(印)	本田弥三太	遠賀郡江川村大字有毛 の畑8畝23歩、売渡代 金45円。	書綴	1
39	積立会員□□	大正3年5月27日初会	東洋貯蓄合資会社		本田佐平・本田重太郎 などの個人と漁業組合 が加入。	書冊	1
40	〔書簡〕	10月29日	若松高等学校 岩尾一 夫		借用していた古文書を 返却。	罫紙 (封筒 入り)	1
41	〔手習本・断簡〕				手習本(文化・天保期 など、書冊7冊、切紙3 点)、帳簿端紙、安政 二年岩屋浦宗旨御改帳 端紙、明治6年「記」 (三木氏県令就任)な ど。		一括
42	〔反古紙〕				帳簿反古紙。		一括